

《 東 上 野 地 区 町 会 連 合 会 》

日時：12月3日（金） 午後4時から（会 場：株式会社オーラム）

◇水はけの悪い側溝について

質問	回答	対応
<p>区内には水はけの悪い側溝がいくつか見受けられます。白鷗高校前的大通りから永寿病院に曲がる道の側溝などは、いくつか段差があり、雨のたびにその段差部分に雨水がたくさん溜まってしまい、雨水桝まで自然に流れていきません。</p> <p>場所によっては、真っすぐ綺麗に直っている部分もありますが、不具合のある部分については順番に直していただけるものでしょうか。</p>	<p>ご指摘の区道について区でも水はけが悪い場所を確認しました。会長と一緒に現地を確認させていただき、今後の対応についてご相談させていただきたいと思います。</p> <p>区では区道について、舗装や側溝等の状況を勘案し、計画的に改修しています。また、職員が区内を点検し、部分的に傷んだ箇所を発見した場合や、区民の方等から連絡があった場合にはその都度補修し、良好な道路環境の維持に努めています。</p> <p>※令和4年2月、会長の立会いのもと現地を確認しました。（土木課）</p>	◇

◇時計の設置場所などについて

質問	回答	対応
<p>現在、台東区役所の庁舎1階にある時計は、災害時に庁舎1階に避難者が訪れた場合、今の設置場所では確認がしづらいのではないかと思います。今後、時間を知るにあたって、便利な場所に何台か時計を設置する考えがあるかどうか、知りたいです。</p> <p>また、旧下谷小学校の校舎には校庭に向いた側に時計が2つありますが、1つは止まっています。避難者はいずれを正しいと判断したらよいのでしょうか。</p>	<p>区役所1階の時計については、現在、ご来庁の皆さまにご覧いただきやすいよう、戸籍住民サービス課窓口上部に2台、東西エレベーターホール上部に各1台の計4台を設置しています。</p> <p>旧下谷小学校校舎の時計について、北側設置の時計は正しい時刻を示していましたが、西側の時計は故障して止まっており、古く修理も難しい状況であるため、皆さまが混乱しないよう文字盤をふさぎました。</p> <p>必要に応じて補完的に設置できる時計も用意していますので、災害時などにはそれらも活用して対応してまいります。</p>	<p>—</p>

◇コロナ対応にかかる発信の工夫について

質問	回答	対応
<p>昨年からのコロナ対応について都内23区の取り組み方に違いがありました。台東区もいろいろ対応されていたと思いますが、正直、私達区民に伝わってきませんでした。</p> <p>もう少し台東区として発信力を高める必要があると感じました。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の対応など、区政情報を区民の皆さまに確実に届けることは重要です。</p> <p>区では、広報たいとうや区公式ホームページ、区公式LINE、区公式Twitterなど、様々な媒体を活用し、それぞれの特性を活かした広報活動を行っています。</p> <p>しかしながら、今回のご指摘のとおり、情報が伝わっていない状況がございます。今後より一層、区の様々な広報媒体を複合的・多重的に活用し、効果的な情報発信を行うとともに、新聞やテレビなど、報道機関へ積極的な情報提供を行い、区の情報発信力の強化に努めてまいります。</p>	<p>◇</p>

◇空き家・空き店舗の利用活用と店舗出店希望事業とのマッチングについて

質問	回答	対応
<p>古くからの住民が減少にある中で、マンションが増え台東区内の世帯数や居住人口が増える喜びの反面、昔からの街並みが変わってしまう寂しさも感じています。下町の建物には、戦争時のエピソードがある家なども残っています。</p> <p>都市開発会社は空き家が増えてくると、住人に立ち退いてもらってでもマンション建設に踏み出そうとしている現状があります。</p> <p>一方、台東区内でオフィスや店舗を探している人も多く、特に使われていない古民家をリノベーションして使いたいという需要は数多くあります。空き家をリノベーションしてそこに新たなビジネスの場が生まれたら、景観を守りながらも地域活性化につながると思います。</p> <p>今後、台東区として空き家の再利用や利用希望者とのマッチング等、今ある建物を活用するお考えをお聞かせください。</p>	<p>商店街等の空き店舗対策では、区内の空き物件等で新店舗を開設する際、改修費等の一部を助成する「アトリエ・店舗出店支援事業」や、商店街の空き店舗を活用している事業者の賃料の一部を助成する「商店街空き店舗活用支援事業」を実施しています。</p> <p>毎年募集しており、「アトリエ・店舗出店支援事業」では昨年度、区内に初めて出店したり、アトリエを改装したりする、革製品の製造や販売を行う7件の中小企業等に対して支援を行いました。また、4件の中小企業者等が「商店街空き店舗活用支援事業」を活用して事業を始めています。</p> <p>これらの支援の後押しもあり、実際に御徒町から蔵前における地区では、民間事業者が主体的にリノベーションを実施して地域の活性化を生み出しています。</p> <p>ご提案のマッチング等、空き家の活用については、地域の特性を踏まえたまちづくりを進めていく際の手法のひとつとして、今後も研究してまいります。</p>	<p>○</p>